

日本評価学会第23回全国大会

大会日程： 12月10日（土）～11日（日）

主催： 日本社会事業大学（オンライン開催）

大会テーマ：「活用される評価に向けて」

大会日程

第1日 12月10日（土）

	ルーム①	ルーム②	ルーム③
9:30～10:00	受付	受付	受付
午前の部 10:00～12:00	自由1 「行政」 (南島和久)	共通1 「価値判断のあり方」 (佐々木亮)	自由2 「地域・社会福祉」 (小島卓弥)
12:00～13:00			
午後の部 I 13:00～15:00		共通2 「国際協力機構(JICA)の 事業評価の最新の取組に ついて」 (佐藤真司)	共通3 「社会的インパクト評価 の概念と実践」 (今田克司)
午後の部 II 15:30～17:30	共通4 「科学技術評価のこれまで とこれから」 (白川展之)		共通5 「発展的評価の可能性と 価値共創主体としての評 価者の役割」 (千葉直紀)

第2日 12月11日（日）

	ルーム①	ルーム②	ルーム③
8:30～9:00	受付	受付	受付
午前の部 9:00～11:00	シンポジウム 「社会的課題解決のイノ ベーションに有効な形成 的評価のあり方」 (贅川信幸)		
11:10～12:00	理事会		
12:15～13:15	総会		
午後の部 I 13:30～15:30	共通6 「政策形成・評価の在り 方に関する改革の動向」 (北岸英敏)	ラウンドテーブル1 「学校評価を問い直す」 (佐々木保孝)	自由3 「評価手法」 (米原あき)
午後の部 II 16:00～18:00	共通7 「自治体評価における評 価の活用」 (窪田好男)	自由4 「教育・国際」 (佐々木保孝)	ラウンドテーブル2 「評価倫理ガイドライン の利用及び改定に関する 会員意見交換会」 (小林信行)

日本評価学会第23回全国大会「活用される評価に向けて」

プログラム詳細

※連名の場合、発表者に○

1日目(12月10日(土))

AM 10:00~12:00 午前の部

ルーム①

自由論題1: 行政

座長・討論者 : 南島和久(龍谷大学)

- ・村上裕一(北海道大学)「原子力行政機関の独立性を評価する」
- ・飯田洋市(公立諏訪東京理科大学)「地方自治体における異なる施策下の事業の相対評価手法の研究」
- ・山谷清志(同志社大学)「行政統制と評価の再検討ー比較政策評価論から」
- ・野呂高樹(公益財団法人未来工学研究所)「欧州連合(EU)における Horizon Europe のモニタリングに関する一考察ー「Key Impact Pathways」に着目してー」

ルーム②

共通論題1: 価値判断のあり方 - No value, no evaluation -

座長・司会: 佐々木亮(国際開発センター)

討論者: 津崎たから(ウェスタンミシガン大学大学院)、大関智史(旭川医科大学)

- ・Jane Davidson (Real Evaluation) “The critical role of values and evaluative reasoning in actionable evaluation.”
- ・Takara TSUZAKI (Western Michigan University) “Value Judgment in Changing Time: from value judgment to development”
- ・大関智史(旭川医科大学)「評価の実践における評価論理に関する考察~米国評価学会員へのアンケート調査分析から~」
- ・Ryo SASAKI (International Development Center of Japan) “Short history of “Value” Trunk at Alkin’s Evaluation Tree”

ルーム③

自由論題2: 地域・社会福祉

座長 : 小島卓弥(NTT データ経営研究所)

討論者: 源由理子(明治大学)

- ・○白井博隆(麗澤大学大学院)、加藤郁夫(あしがら地域振興協会)、竹内正興(国際開発センター)「企業活動が及ぼす地域振興への影響の評価ー北海道乙部町における株式会社アドバンスの事例ー」
- ・○小野田由実子(法政大学大学院)、新藤健太(日本社会事業大学)、磯谷悠子(東北医科大学病院)、大島巖(東北福祉大学)「社会課題解決のための変革プログラムに取り組む実施主体の効果的組織発展に資する評価情報提供のあり方: CD-TEP 法を用いた事業評価の経験から」
- ・○新藤健太(日本社会事業大学)、西岡正次(A’ワーク創造館(大阪地域職業訓練センター))、小田川華子、池本修悟(ユニバーサル志縁センター)、小野田由実子(法政大学大学院)、大山早紀子(川崎医療福祉大学)、大島巖(東北福祉大学)「生活困窮者等の効果的な就労支援のための効果モデルの検討~プログラム理論の組織計画に注目して~」

12:00~13:00 休憩

PM1 13:00~15:00 午後の部 I
ルーム②
<p>共通論題 2：国際協力機構（JICA）の事業評価の最新の取組について 座長・司会：佐藤真司（JICA） 討論者：正木朋也（JICA）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古田成樹（JICA）「JICA の事業評価の概要－最近の評価制度改善の取組とデータ利活用の状況－」 ・田村愛弥（JICA）「世銀 SWIFT を活用した高頻度家計調査による事業モニタリング・評価～マラウイ国における実践紹介」 ・佐藤功一（JICA）「JICA 事後評価における衛星データの活用」
ルーム③
<p>共通論題 3：社会的インパクト評価の概念と実践 座長・司会：今田克司（CSO ネットワーク／ブルーマーブルジャパン） 討論者：津富宏（静岡県立大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今田克司（CSO ネットワーク／ブルーマーブルジャパン）「趣旨説明：社会的インパクト評価の概念整理」 ・平田みずほ（新生銀行）「インパクト投融資におけるインパクト測定・マネジメント（IMM）の進化と現在地」 ・小笠原由佳（社会変革推進財団）「休眠預金等活用事業における社会的インパクト評価の実際と課題」 ・○大澤望（インパクト・マネジメント・ラボ）、新藤健太（日本社会事業大学）「社会的インパクト・マネジメントにおける社会的インパクト評価の機能」
PM2 15:30~17:30 午後の部 II
ルーム①
<p>共通論題 4：科学技術評価のこれまでとこれから：日本の評価学への期待 座長・司会：白川展之（新潟大学） 討論者：南島和久（龍谷大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩満典子（山口東京理科大学）「科学技術と評価～体験的研究評価論～」 ・黒河昭雄（神奈川県立保健福祉大学）「科学技術イノベーション政策と EBPM」 ・齊藤貴浩（大阪大学）「大学評価と研究評価：日本の大学の対応」 ・白川展之（新潟大学）「日本評価学会科学技術評価分科会が目指すもの」
ルーム③
<p>共通論題 5：発展的評価の可能性と価値共創主体としての評価者の役割 座長・司会：千葉直紀（ブルーマーブルジャパン） 討論者：米原あき（東洋大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中谷美南子（評価コンサルタント）「発展的評価(DE)から見た評価者の役割と実践（概論）」 ・小澤伊久美（国際基督教大学）「発展的評価から見た評価者の役割と実践（教育分野において）」 ・清水潤子（武蔵野大学）「発展的評価とコレクティブ・インパクトー共通基盤と課題整理の試みー」 ・○今田克司（CSO ネットワーク）、○松村幸裕子（共奏学舎）「価値共創主体としての評価者に求められる役割～『A Developmental Evaluation Companion』から～」

2日目(12月11日(日))

9:00～11:00 シンポジウム

ルーム①

シンポジウム：社会的課題解決のイノベーションに有効な形成的評価のあり方
～活用される評価へのアプローチ

座長：贅川信幸（日本社会事業大学）

討論者：北大路信郷（明治大学）

- ・大島巖（東北福祉大学）「社会課題解決に資する有効な EBP 等効果モデルの形成的評価～実践家参画型評価を用いたアプローチの可能性～」
- ・今田克司（CSO ネットワーク）「実用重視評価の到達点 ～発展的評価によるイノベーター伴走と社会課題解決～」
- ・源由理子（明治大学）「参加型評価における形成的評価の役割 ～組織における評価文化醸成への期待～」

11:10～12:00 理事会

12:15～13:15 総会

PM1 13:30～15:30 午後の部 I

ルーム①

共通論題 6：政策形成・評価の在り方に関する改革の動向
～「役に立つ」評価を目指して～

座長・司会：北岸英敏（総務省）

討論者：南島和久（龍谷大学）

- ・辻寛起（総務省）「政府における政策形成・評価をめぐる議論の最新動向」
- ・菊池明宏（総務省）「政府における EBPM 推進の取組～EBPM の実証的共同研究を中心に」

ルーム②

ラウンドテーブル 1：学校評価を問い直す

～多様な支援者からみた学校づくりの実際をふまえて～

座長：佐々木保孝（天理大学）

司会・討論者：小澤伊久美（国際基督教大学）

- ・菊池由利（奈良市教育委員会）、高橋雅代（生駒市立あすか野小学校）、新谷明美（奈良市富雄中学校区地域教育協議会）、佐々木保孝（天理大学）「現場で感じる「評価」の潜在的可能性－奈良県内の「地域とともにある学校づくり」の取り組みより－
- ・石田健一、橋本昭彦（日本女子大学）「学校支援活動にみられる当事者の「学び」－学びのサイクルを駆動させる評価のポイント」

PM1 13:30～15:30 午後の部 I (続き)
ルーム③
<p>自由論題 3：評価手法</p> <p>座長：米原あき (東洋大学)</p> <p>討論者：青柳恵太郎 (メトリクスワークコンサルタンツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○竹丸草子 (長岡造形大学大学院)、新藤健太 (日本社会事業大学) 「福祉事業所でのアーティストワークショップにおける MSC 手法の試み」 ・本田正美 (関東学院大学) 「特定個人情報保護評価における「評価」とは」 ・田中博 (参加型評価センター) 「参加型・質的評価手法 MSC (モスト・シグニフィカント・チェンジ) による演劇ワークショップ評価の試み」 ・赤澤直樹 (広島大学大学院) 「インパクト理論における Equivocality の考察」
PM2 16:00～18:00 午後の部 II
ルーム①
<p>共通論題 7：自治体評価における評価の活用－評価の活用における制度の重要性－</p> <p>座長・司会：窪田好男 (京都府立大学)</p> <p>討論者：池田葉月 (京都府立大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中啓 (静岡文化芸術大学) 「評価の利用につながる制度化のあり方：自治体の評価制度をめぐる論点の整理」 ・小野達也 (鳥取大学) 「業績測定による評価における活用－測定結果は活用するに足りるのか－」 ・佐藤徹 (高崎経済大学) 「地方自治体における政策評価と EBPM の一体的推進に関する考察」 ・小島卓弥 (NTT データ経営研究所) 「地方自治体における行政評価制度の現状とこれから」
ルーム②
<p>自由論題 4：教育・国際</p> <p>座長：佐々木保孝 (天理大学)</p> <p>討論者：西村邦雄 (東洋学園大学非常勤講師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○牟田博光、橋本和明、山田祐美子、結城貴子 (国際開発センター) 「「教育協力政策の評価」の評価手法」 ・橋本昭彦 (日本女子大学) 「公立小中学校における学校評価の実施環境と評価ニーズの調査とその結果～学校評価のカスタマイズ手法の開発 (2)」 ・石田健一 「インフラ開発事業の環境社会配慮モニタリングにおける可能性－地域の人たちによる学習を見据えて」 ・高橋眞美 (元早稲田大学大学院) 「持続性の評価の研究」
ルーム③
<p>ラウンドテーブル 2：日本評価学会「評価倫理ガイドライン」の利用及び改定に関する 会員意見交換会</p> <p>座長：小林信行 (OPMAC 株式会社)</p> <p>司会：中谷美南子 (評価コンサルタント)</p> <p>討論者：佐々木亮 (国際開発センター)、石田洋子 (広島大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林信行 (OPMAC 株式会社)、田中博 (参加型評価センター) 「「評価倫理ガイドライン」の利用及び改定に関する論点－アンケート調査結果を中心に－」

大会実行委員会

小池康太郎（日本社会事業大学大学院）、白須莉央（日本社会事業大学職員）、
新藤健太（日本社会事業大学）、田中啓（静岡文化芸術大学）、
玉之内菖（日本社会事業大学大学院）、贅川信幸（日本社会事業大学）（委員長）、
仁科雄介（伊東市役所）

企画委員会

小島卓弥（NTT データ経営研究所）、齊藤貴浩（大阪大学）（委員長）、
佐々木保孝（天理大学）、洪井進（大学改革支援・学位授与機構）、
白川展之（新潟大学）、田中啓（静岡文化芸術大学）、南島和久（龍谷大学）、
正木朋也（国際協力機構）、米原あき（東洋大学）